

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 7 月 7 日 (2005.7.7)

【公開番号】特開 2003-148628 (P2003-148628A)
 【公開日】平成 15 年 5 月 21 日 (2003.5.21)
 【出願番号】特願 2001-344271 (P2001-344271)

【国際特許分類第 7 版】

F 1 6 J 15/32
 C 0 8 L 27/16
 C 0 8 L 27/18
 C 0 9 K 3/10
 F 1 6 C 29/06
 F 1 6 C 33/78
 F 1 6 H 25/24
 //(C 0 8 L 27/16
 C 0 8 L 83:04)
 (C 0 8 L 27/18
 C 0 8 L 83:04)

【F I】

F 1 6 J 15/32 3 1 1 Z
 C 0 8 L 27/16
 C 0 8 L 27/18 Z A B
 C 0 9 K 3/10 M
 C 0 9 K 3/10 R
 C 0 9 K 3/10 Z
 F 1 6 C 29/06
 F 1 6 C 33/78 Z
 F 1 6 H 25/24 L
 C 0 8 L 27/16
 C 0 8 L 83:04
 C 0 8 L 27/18
 C 0 8 L 83:04

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 11 月 8 日 (2004.11.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

補強部材と、ゴム組成物とを接合してなるゴムシール装置において、前記ゴム組成物がテトラフルオロエチレン - プロピレン 2 元共重合体及びフッ化ビニリデン - テトラフルオロエチレン - プロピレン 3 元共重合体から選ばれるフッ素ゴム 100 重量部に対し、摩耗改良剤として反応性シリコンオイルを 2 ~ 20 重量部含有することを特徴とするゴムシール装置。

【請求項 2】

反応性シリコンオイルが、アミノ変性、エポキシ変性、カルボキシル変性、カルビノ

ール変性、フェノール変性またはメタクリロ変性したポリシロキサンであることを特徴とする請求項 1 記載のゴムシール装置。

【請求項 3】

反応性シリコンオイルの官能基当量が $300 \sim 10000 \text{ g/mol}$ であることを特徴とする請求項 1 または 2 記載のゴムシール装置。

【請求項 4】

請求項 1 ～ 3 の何れか 1 項に記載のゴムシール装置を備えることを特徴とするオイルシール。

【請求項 5】

請求項 1 ～ 3 の何れか 1 項に記載のゴムシール装置を備えることを特徴とする転がり軸受。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 3 の何れか 1 項に記載のゴムシール装置を備えることを特徴とする直動装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明は、補強部材と、ゴム組成物とを接合してなるゴムシール装置において、前記ゴム組成物がテトラフルオロエチレン - プロピレン 2 元共重合体及びフッ化ビニリデン - テトラフルオロエチレン - プロピレン 3 元共重合体から選ばれるフッ素ゴム 100 重量部に対し、摩耗改良剤として反応性シリコンオイルを 2 ～ 20 重量部含有することを特徴とするゴムシール装置、並びに前記ゴムシール装置を備えるオイルシール、転がり軸受及び直動装置を提供する。